

平成12年度第1回生物物理運営委員会議事録

日時：10月5日11：50～12：45

場所：C会場（和光市文化センター会議室）

出席者：郷会長、七田・木下両副会長、阿久津、片岡、木寺、桑島、曾我部、月原、豊島、難波、船津、倭、由良各委員、新田北海道支部長、太和田九州支部長、鈴木東北支部長、石渡編集実行委員長、市川平成11年年会実行委員長、大木平成12年年会実行委員長、河合・永田会長室秘書

欠席者：田之倉、都甲、白井各委員

自己紹介：

運営委員出席者全員の自己紹介を行った。

報告事項：

1. 平成11年度年会報告（市川）

- ・現時点での参加者は総数1270名程度である。
 - ・学会からの支度金200万円のうち160万円までは返却の見込みがある。
- 正確な数字は次回運営委員会で報告する。

2. 平成12年度年会準備状況（大木）

- ・平成12年9月11日から13日まで東北大学川内キャンパスで開催予定。旧教養部の改装予算が通れば、1棟改装工事に入る可能性があるが、それでも2棟で開催可能。清水氏、栗原氏、鈴木氏、大木氏で具体的に進めている。
- ・ポスター用の広い会場がないため、口頭発表形式で行う。
- ・東北大学生協のコミュニケーションサービスに協力を依頼。受付のアルバイト等は年会準備委員会で手配する。
- ・11月29日に実行委員会を立ち上げる。
- ・年会のスケジュールは会誌12月号に日程等とシンポジウムの募集を掲載する。会誌4月号に正式な開催広告を掲載する。
- ・次回運営委員会で具体的なことを報告する。
- ・郷会長よりシンポジウムは運営委員会で決定することであるとの確認があった。また40周年記念の企画を提案してほしいとの要望があった。

議題：

1. 新運営委員の役割分担 (郷) 資料1

- ・平成11・12年度委員には継続して役割を分担する。
- ・庶務担当は名古屋の方として曾我部氏と倭氏に依頼。選挙管理委員長を曾我部氏に、倭氏に（会長秘書室の移動の仕事を含む）日常の実務をお願いする。
- ・広告担当は東京にいる方がよい。木下副会長の推薦で船津氏に依頼。
- ・書記担当は若手の職務になっているので白井氏に依頼。
- ・経理担当はこれからよい財政計画が必要なので阿久津氏に依頼。
- ・年会担当は学会の大きな活動なので木下副会長に依頼。シンポジウムとキーワードの案は年会担当と年会実行委員の間で話し合い運営委員会に提案することが確認された。シンポジウムを選択する時間が少ないことが七田副会長から指摘され、Emailを活用して意見をまとめることが郷会長より提案された。
- ・会員担当は会員を増やすことが仕事（例：物理学会へ行って宣伝する）であり、片岡氏に依頼。
- ・企画担当は片岡氏に依頼。年会における出版物のサイン会、40周年記念などを企画してもらいたい。
- ・2001年 Biological Physics 担当は片岡氏に依頼。
- ・物理学会連絡担当は木下副会長に依頼。
- ・会誌担当は難波氏に依頼。電子化が大きなトピックスになる。編集の新しい方針を出すことが仕事。
- ・外交担当は曾我部氏に依頼。
- ・ホームページ担当は倭氏に依頼。
- ・賞・助成金推薦委員会は運営委員全員でおこない、実行委員長は継続の七田副会長。
- ・生物科学学会連合担当は木下副会長に依頼。研連連合の会合に参加する。東京の方がよい。
- ・遺伝子操作担当は七田副会長に依頼。
- ・郷会長より運営の継続性をよくするために、各役割のやり方を蓄積したルールを配ることが提案され、次回運営委員会までに、ルールをどのようにとりまとめるか、郷会長が案を提出する。

2. 平成12年度分野別専門委員の決定方法について (七田)

- ・難波会誌担当が行うことになる。年会のデータ（予稿集巻末のキーワード）

をもとに作成する。次回運営委員会以前にEメールによる話し合い必要であることが指摘された。

3. 「生物物理」編集実行委員（平成12～13年）の改選について（石渡）
資料2

- ・編集実行委員の推薦が各運営委員に依頼された。

4. ニューバイオフィジックス刊行委員会の承認について（曾我部）

- ・上記委員会は出版を完了するまで存続するので、新運営委員会での承認が提案され、拍手で承認された。

連絡事項：

1. 次回運営委員会の日程について（郷）

- ・12月4日（土）13：00から愛知県中小企業会センター会議室で行う予定。